



〒111-8765 東京都台東区西浅草 3-17-1 浅草ビューホテル 2階
TEL. 03-3847-1111 FAX. 03-3847-0154 URL: http://www.asachu-rc.jp

2016 - 2017 年度テーマ

R.I. テーマ 「変化をもたらす」

R.I. 会長 イアン H.S. ライズリー
地区ガバナー 吉田 雅俊

クラブテーマ 「身も心も健康で、前に進もう」

クラブ会長 田村 順二



2017年 8月 9日

第 1507 回例会

会長 田村 順二
幹事 浜中 清

本日の卓話

地区拡大推進委員会

今後の卓話予定

- 8/16 「脳科学でわかる・元気に楽しく生きる3つの習慣」
(株)結心 寺本早希様
- 8/23 夏休み
- 8/30 定款休会



年間100%出席

山尾尚司君 14回

前回 (8/2 1506 回例会) の記録

来訪者紹介

- ◆ゲスト 2名
卓話者 東京浅草ロータリークラブ 坂 真太郎 様
東京浅草中央ローターアクトクラブ 会長 三浦慎太郎 様
- ◆ビジター 0名

出席報告

総会員数	休会	出席免除	出席	欠席	出席率	修正出席率
41名	0名	5名	35名	4名	89.74%	1504回例会修正 欠席2名・出席率94.87%

会長報告 <田村会長>

- ・ 医長出張でいわき市の往復で400kmの時に BMWの5シリーズを買いました。本町のカーブを曲がるのが、帰りの楽しみの一つです。最初のBMWはいわきの往復で3年間で96,000km走ってしまいました。
- ・ 診療所からの帰りに高速の入谷から乗って、

幹事報告 <浜中幹事>

- ・ 本日、例会終了後に第2回理事会を行いますので、事務所にお集まり下さい。
- ・ 50周年記念フォーラムと祝賀会を来年2月4日に行います。出席希望の方は「登録申込書」をダウンロードして、手続き下さい。
- ・ ロータリー米山記念奨学会より、財団設立

委員会報告

<親睦活動委員会 佐藤委員>

- ・ 浅草ビューホテル改装工事に伴う駐車場利用について。
- ・ パン詰め合わせ引換券は12月1日よりご利用いただけます。

<社会奉仕委員会 伊石委員長>

- ・ 今回、再び九州北部豪雨災害支援金のお願いをさせていただきます。今回で最後です！ よろしくお願い致します。

第2回 理事・役員会 議事録

<田村会長挨拶>

本日、協議、審議事項が沢山ありますのでスムーズに進行致しましょう。

<協議事項>

1. ビジターフィにつきましては本年度、SAAの決めた金額で行う事が決定されました。(次年度は再協議する。)
2. ガバナー補佐には、当クラブは藤掛靖元会員に決定致しました。

<審議事項>

1. 浜中元会計より7月分の会計報告があり、異議無く承認されました。

<報告事項>

1. 2016-2017会計監査、海内監査人より問題無しの報告を頂きました。
2. ローターアクト会長三浦慎太郎氏より事業計画の報告がありました。

ニコニコボックス

<田村会長、浜中幹事>

- ・坂 真太郎様よろしくお願ひ致します。

<永井、丸岡、後上、宮村、山尾、天笠、海内、上野、長沼、太田、上原、吉沼、藤掛、大塚、小林(雅)、園部、尾泉、古谷、中村、渡辺、河村>

- ・坂 真太郎様、本日の卓話「能楽よもやま話」楽しみにしております。よろしくお願ひいたします。

<上原>

- ・天笠さん、花火大会では大変お世話になりました。お客様も大変喜んでおりました。ありがとうございました。

<山尾、田村、藤掛>

- ・天笠さん隅田川花火大会ではお世話になりました。

<高木>

- ・数年でシングルになると言われ、伸びしろがあると言われ苦節10年。ついにゴルフ同好会で優勝しました。ご支援いただいた皆様、ありがとうございました。
- ・長沼さん、先日はありがとうございました。長沼さんの車に乗ると、また優勝できるのかも。

<高木、丸岡>

- ・二松学舎大附属高校、東海大菅王高校、甲子園出場おめでとう！ 燃やせ青春！

<海内>

- ・台風5号が本州に近づいています。これからのシーズン、台風、ゲリラ雨などに気を付けましょう！

卓話

「能楽よもやま話」



東京浅草ロータリークラブ

坂 真太郎 様

プロフィール

能楽師シテ方観世流

重要無形文化財能楽総合指定保持者

三世 観世喜之師よしゆきに師事

故坂 真次郎（重要無形文化財総合指定保持者）の長男

1972年11月 台東区根岸生まれ

1975年5月 初舞台

1995年3月 東京藝術大学音楽学部邦楽科能楽専攻卒業

2003年3月 皇居・桃華楽堂での音楽大学卒業生演奏会に出演
独鼓「菊慈童」を皇后陛下・皇太子殿下・同妃殿下の御前にて奏演

2017年 NHK大河ドラマ「おんな城主直虎」に出演

イギリス、スペイン、ベルギー、韓国、オランダ、ギリシャ、メキシコ等海外公演にも多数参加。
現在、台東区アートアドバイザー・たいとう観光大使として、台東区の文化芸術、観光振興に尽力している。

東京浅草ロータリークラブ会員

「能楽」は長く「猿（申）楽」と呼ばれていましたが、明治時代に入り「能楽」と呼ばれるようになります。室町時代から現代まで伝承されている「能楽五流」は、興福寺や春日大社に奉仕する芸能集団「大和申楽四座」の流れを汲んでいます。大和の他にも、丹波や近江など、各地に猿楽が有ったのですが、途絶えてしまいました。世阿弥は「猿楽」より「申楽」を好んで使いました。

世阿弥は能楽作品の台本を多数執筆していますが、後進の育成のために様々な芸術論書も執筆しています。中でも有名な『風姿花伝』の「年来稽古条々」では、現代に通じる後継者育成の心得が示されています。600年も前に書かれたものが、現代の私達にも示唆を与えている事は驚きです。

能の特徴としては、「能面」の使用が挙げられます。面により狭い視野の中での演技を求められるので、安全性を確保するために「摺り足」は欠かせません。また面は角度により表情が様々なに変化するので、面の角度を固定するために、身体の強固な「構え」が必要です。このように、能面と能の演技法には、密接な関係があります。

現在、台東区に「能楽堂」はありませんが、大東亜戦争までは3ヶ所の能楽堂が存在しました。厩橋の梅若舞台、西町の観世鍔之丞家舞台、根岸の加賀前田家舞台です。厩橋と西町は共に、関東大震災と東京大空襲で2度焼失しました。根岸の舞台は染井へ移築され、震災・戦災を免れ、現在は横浜能楽堂となっています。徳川幕府の保護を離れ、明治維新により瓦解寸前だった近代能楽再興の拠点は、台東区だったのです。このような背景もあり「台東薪能」が行われるようになりました。

大和発祥の能楽には、関西地方を舞台とする作品が多いのですが、僅かながら台東区ゆかりの作品もあります。生き別れになった母子が、息子の死により再会が叶わない悲劇『隅田川』。観音経の利益により平家の残党・盛久が一命を取り留める『盛久』では、その身代わりになった千手観音が、上野清水観音堂に祀られています。この『隅田川』『盛久』のいずれもが、世阿弥の子息・十郎元雅の作品であるのも何かの縁でしょうか。